

留 学 報 告 書

留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	ショアラインコミュニティカレッジ
留学期間	2018年9月～2019年3月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	70万円
保険料	5万円
宿舍費（1か月あたり）	8万円
食費（1か月あたり）	ミールプラン
渡航旅費	14万円

滞在形態関連

1) 種類
ホームステイ。
2) 部屋の形態
個室。
3) 設備
シャワー、トイレ、キッチン、ランドリー、インターネット環境。
4) 住居を探した方法
留学先大学の指定留学先大学のホームページ。

現地情報

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？
はい。
2) 現地で病院にかかったことはありますか？
いいえ。
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？
いいえ。
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？
いいえ。
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？
留学先の友人、大学の先生。

6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？
事前にホストマザーから危ない場所や避けた方がいいルートを教えてもらっていました。一度家の近くで不審者あったことがあり、防犯ブザーを身に付けるように言われていました。実際に犯罪に巻き込まれたことがありませんが、ダウンタウン付近はホームレスが非常に多かったり、家の近くも街灯がなかったので気を付けていました。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？
ほとんどのカフェにはWi-Fiがついているので問題ないと思います。私はアマゾンでSIMを購入しましたが、留学先現地の番号ではなかったため不審がられることがありました。空港にSIMカードショップがあるので現地空港でSIMを買うのがいいと思います。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？
カレッジのアドバイザーから現地で口座開設することを勧められたため、生活費はアルバイトでためたお金と、足りない分は親から送金してもらいました。
9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？
コンビニやスーパーマーケットが家の近くにあったので不便なことはありませんが、風邪を引いたときにマスクやティッシュを日本のように簡単に手に入れることができなかったので多めに持って行くといいと思います。食品や化粧品は宇和島屋という日系スーパーで買えます。
10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？
クレジットカード。
11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

渡航について

1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？
留学先大学のピックアップサービス。
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？
はい。1週間。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

履修した授業科目名
English for Academic purpose B
授業内容や試験、授業を受けた感想について

明治の Reading & Writing と同じで、リーディングとエッセイの課題がメインです。エッセイはクォーターを通してつ書きました。授業内では文法を詳細にレクチャーされました。エッセイもひとりひとりに対して細かくフィードバックをもらったので、文法やペーパーライティングのスキルが上がりました。

履修した授業科目名

Introduction to Sociology I

授業内容や試験、授業を受けた感想について

アメリカの社会制度や文化、差別などについて学びました。クォーターを通してテストは3回で、全記述式でした。私以外のインターナショナル生がいなかったため、授業中はよく日本の文化について発言するように言われました。

履修した授業科目名

English composition I

授業内容や試験、授業を受けた感想について

ペーパーライティングについてのみの授業。クォーターを通してエッセイは3回書きました。授業内では効果的なエッセイの書き方をディスカッションしました。課題は全てオンラインで、動画を見たり文献をみたりして自分の意見をディスカッションボードに書いてクラスメイトと意見交換をしました。毎週金曜日は一人一回以上は発言するクラスディスカッションを行いました。

履修した授業科目名

Introduction to philosophy

授業内容や試験、授業を受けた感想について

さまざまな哲学者の思想についてディスカッションをしました。テストは毎週1回あり、毎週30ページほどあるマテリアルを読んでその内容について問われました。金曜日はオンラインディスカッションがあり、マテリアルを読んで自分の哲学的意見を交換しました。

履修した授業科目名

General Psychology

授業内容や試験、授業を受けた感想について

社会心理学、発達心理学などの基本的なことを学びました。テストはクォーターを通して6回あり記述と選択式でした。課題がとても多かったのと、脳や神経などのはたらきを学んだので専門用語を覚えるのが大変でした。

留学体験記

留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由	コミュニティカレッジを選んだ理由は、学費が四年制大学より安いので自分の稼いだお金で費用を賄えると思ったからです。大学よりも規模が小さく、少人数授業で教授との距離が近いので質の高い授業が受けられることに加えて友人もすぐに作れるしキャンパス内で会う機会も多くコミュニケーションを多くとれると思いました。その中でもショアラインコミュニティカレッジは日本人学生の割合が少なく、留学先では日本語をあまり話したくないと思ったので選びました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	私は締め切りのギリギリに準備を始めたので TOEFL も 2 度しか受けておらず、出願をする時期には既に認定校が締め切っていました。早いうちから計画的に大学決定や TOEFL の受験をしておけば認定校に行けるチャンスもあったかなと思います。
留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等	Uber と Lyft は留学に行くなら入れておくべきだと思います。ダウンタウンを離れるとバスの本数が減ったり、夜の最終バスが早いのでよく使っていました。アメリカに行くなら Transit というアプリを入れておけば、バスがあと何分で来るかや遅延状況などを適格に教えてくれます。Yelp というアプリは友人と外食に行くときにレストランを見つけるのに役立ちました。
大学・学生の雰囲気（職場や同僚の雰囲気）	四年制大学に比べて規模が小さいので、友達を作りやすく、みんな仲がいいです。学生はインターナショナルとドメスティックでオリエンテーションが分かれているので最初のうちは英語ネイティブの学生と関わる機会は少なかったです。国籍は様々でしたが特にアジアの学生が多く、主に中国や台湾が締めていました。年齢層も幅広く、高校のプログラムをカレッジで受けている 16 歳の学生もいれば、60 歳近くの年配の方もいました。
滞在先の雰囲気	滞在先はホームステイで、ホストマザーとホストブラザーの 2 人で住んでいる家でした。毎週日曜日は一緒に教会に行きました。サンクスギビングやハロウィーン、クリスマスなどのイベントもホームパーティーで一緒に過ごしました。行きたいといったところには連れていってくれたり、ホストブラザーの定期演奏会に行ったりと本物の家族のように扱ってくれました。ディナーのあとは団らんではなく個人の時間といったかたちでした。
留学先における交友関係	知り合いが一人もない状態で留学にいったので、始めはできている輪に入っていくのが大変でしたが、オリエンテーションで同じくひとりである子に話しかけられたり、インスタグラムを交換してメッセージのやり取りをして仲良くなったりしました。クラスメイトとお昼を食べているうちに友達の友達というかたちで輪が広がっていきました。一緒に出かけたり、図書館で勉強をしたり、お互いの文化や言語について話し合ったりしました。
留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと	一番大変だったのは出国前にホームステイ詐欺に遭い約 25 万円を失ったことです。入金したのちに相手から連絡が来なくなり詐欺だと発覚しました。個人的に探しており、学校指定のエージェントを通していなかった所以对処ができずお金は戻ってきませんでした。学校のアドバイザーに相談しましたが詐欺はアメリカで

	<p>は多くあることで相手を特定することはできませんでした。詐欺に気付いたのは 8 月で出国の 2 週間前だったので新しいホストを探すのも大変でした。</p>
<p>留学先における学習、課題や試験</p>	<p>日本の大学よりも圧倒的に課題の量もテストも多く、勉強は毎日していました。心理学などでは専門用語が多く出てくるので調べながらすすめるのも大変でした。テストで知らない言葉が出てきた時も理解するのが大変でした。雪の影響で 2 週間学校が閉まった時は、授業のキャッチアップが大変で、課題に一日 7 時間以上費やしたこともありました。テスト前は友達とは勉強せずに一人でカフェなどで勉強をしていました。</p>
<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>学校が朝 8 時半から 12 時半までだったので、終わった後は友達とランチをしてから図書室で勉強していました。休日は友達とダウンタウンに出かけたり、カフェで勉強していました。フェイスブック等でイベントを探して参加したり、ホストファミリーと出かけることも多くありました。英語力を上げるために時間が空いているときはネットフリックスを英語字幕で見たり、単語を学んだりフレーズを学んだりして実践していました。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>留学中は楽しいことだけでなく辛いこともたくさんあると思います。身を引いてしまっただけでは何も得られないので、新しいことにたくさんチャレンジしていろいろな失敗から経験を得られると思います。また、留学は早めかつ詳細に計画してから選考に挑むことが大切だと思います。勉強だけでなく人との関わりで得られることがたくさんあるので、たくさんの人と積極的にかかってほしいと思います。</p>

